

# SHIN MUSHA GUNDAM DISPLAY IMAGE



Front view



Rear view

**顔を中心に、「スミ入れ」をしてみよう**

ガンダムマーカ―/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感やリアル感が増します。このスミ入れを行うことで、さらに見違えるような仕上がりになります。

Before

After



真武者頑駄無  
戦国の陣  
マスターグレードモデル

# 真武者頑駄無 戦国の陣



Shin Musha Gundam

# 真武者頑駄無 戦国の陣



真武者頑駄無  
戦国の陣  
マスターグレードモデル

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、一部塗装してあります。写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

0158211





# 真武者頑駄無

A.D.2007年、PS3用ゲームソフト「ガンダム無双」に、隠しキャラクターとして「武者ガンダム」が登場。この「武者ガンダム」は、1980年代後半にブレイクした「武者ガンダム」をカトキハジメがリファインした「真武者頑駄無」を使用し、「ガンダム無双」発売イベントの試遊会における隠し的なビッグニュースとして初お披露目された。ゲーム終盤の強力な対決相手として登場したその勇姿は、参加したゲーマーのみならず、多くのガンダムファンを度肝を抜いたものであった。

「武者ガンダム」とは、日本古来の鎧を身にまとった和風テイストのガンダムのことであり、且つ、そのバリエーション群の総称でもある。「ガンダム」の興奮冷めやらぬ1985年。折しも「機動戦士Zガンダム」が放映中であり、男児向けのガンダム情報の発信源でもあったコミックボンボン（講談社）に大好評で連載されていたのが「プラモ狂四郎」である。「武者ガンダム」は、その'85年6月号のエピソードにおいて、主人公の狂四郎がライバルと戦うために作り上げたものである。元々ガンダムのデザインは、頭部の月代や髷、陣羽織風のシルエットなど、ザンボット3以来の鎧武者や侍装束の意匠を取り込んでいたため「武者」アレンジとは相性が良く、「武者ガンダム」の意匠は瞬く間に認知されていった。また、ガシャポンブームに伴うSD（スーパーディフォルメ）化の波に乗り、塩ビフィギュア、組立て玩具、キット化のみならず、シリーズ化とともに独自のキャラクターやエピソードを含む世界観も続々と構築され、SDのカテゴリーにおいては戦国物やファンタジー編なども産み出されていった。一方、それらをスピノフする格好で、リアル頭身のアイテムもリリースされた。Mk-II、Z、ZZのハイメタルシリーズを改造した武者3体と、それに規格を合わせた騎士ガンダム、コマンドガンダムが玩具ルートで、新開発の「MSジョイント」を採用した武者頑駄無、摩亜屈、仁宇がホビールートで発売された。その後もSDおよび武者ガンダムは、ガンダム、更には「ガンダム」そのもののエントリーアイテムとしてリリースされ続け、その流れは連続と受け継がれている。さらには中国の古典「三国志」になぞらえた「BB戦士 三国志」シリーズまでも、武者系アイテムとして展開している。

2007年に発売された「ガンダム無双」に引き続き、2008年2月発売の「ガンダム無双 SPECIAL」では新たなキャラクターとして「武者ガンダム Mk-II」が出現。より遊びの幅が広がる内容となった。

さらに、2008年12月に発売された「ガンダム無双2」ではマルチプラットフォームでのリリースとなり、キャラクター数を含め要素も大幅に追加され、より多くのゲームファン、ガンダムファンが楽しめることで話題となった。



武者ガンダム Mk-II



▼「ガンダム無双」用に、カトキハジメ氏により「真武者頑駄無」の名でリファインされた武者ガンダム。鎧武者の意匠とメカニカルな説得力が見事に融合した、クレン味あふれるデザインとなっている。



◀リアル頭身の武者アイテム「モビルスーツ戦国伝」プラモデルシリーズ。武者ガンダムは月生白銅（ガンダリウム）製の鎧を纏う巨大武者であり、阿夢呂丸（あむろまる）の操縦で、日本制覇を狙う地怨党（じおんとう）と戦う、というバックストーリーが存在する。

**武者頑駄無**

## 組み立て前の基本説明

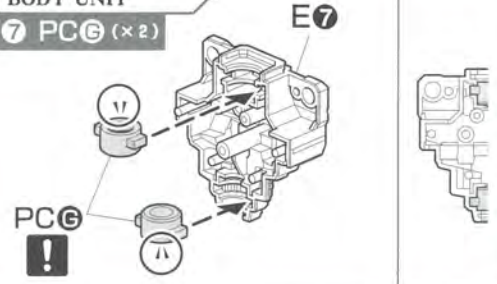
部品の向きに注意してください

※組み立て図中に1/1のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

### 1 [胸部の組立]

(1) BODY UNIT

E7 PC6 (×2)

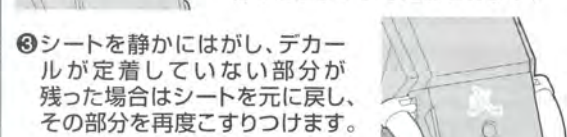


### ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

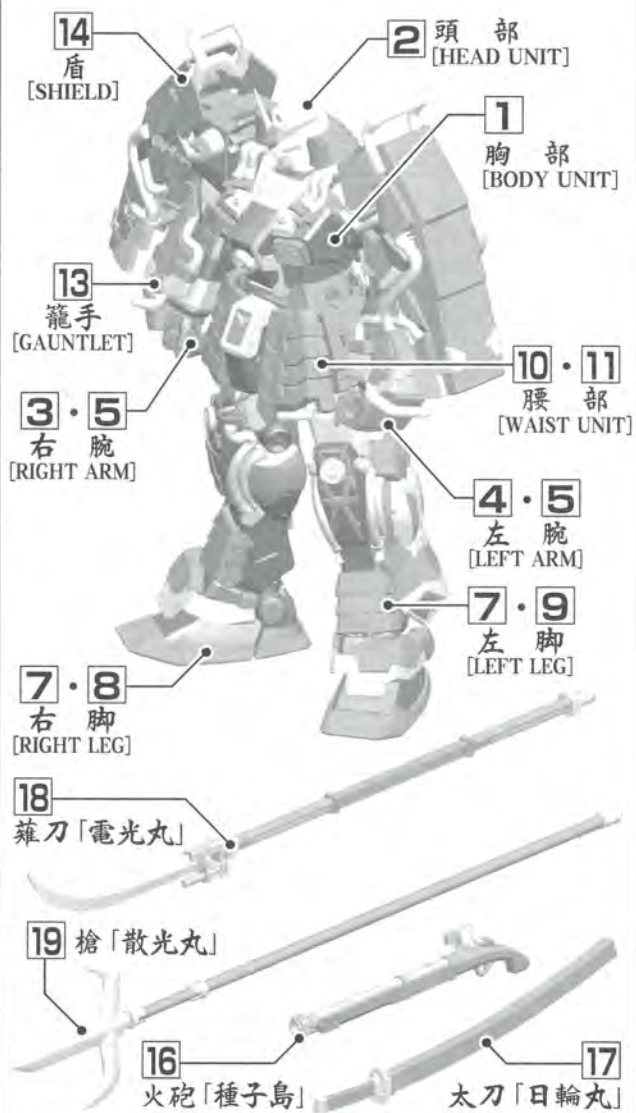


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

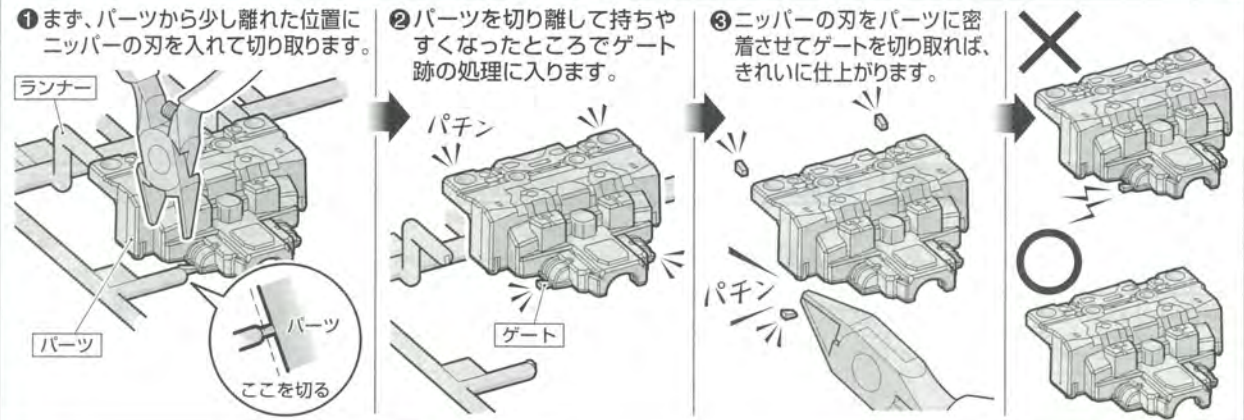


※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう



### パーツの切り取りかた



【基本説明】 HOW TO

【部品表】 PARTS LIST

【胸部】 1 BODY UNIT

【頭部】 2 HEAD UNIT

【腕部】 3~6 ARM UNIT

【脚部】 7~9 LEG UNIT

【腰部】 10~12 WAIST UNIT

【籠手+盾】 13~15 GAUNTLET & SHIELD

【武器】 16~20 WEAPONS

【飾り台】 21 DISPLAY BASE

【シール】 SEAL



### △ 注意

#### 必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。

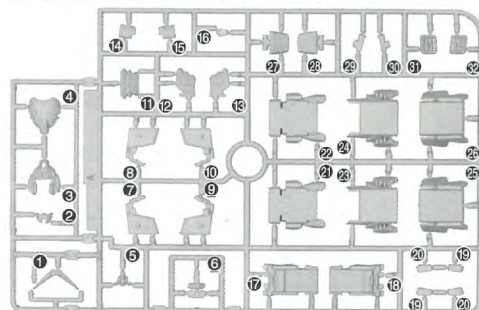
### 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気を付けて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。

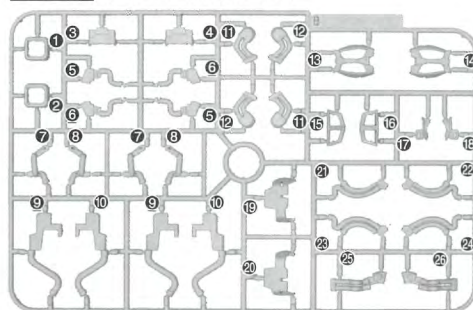
※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーをしますので別にご用意ください。

### パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

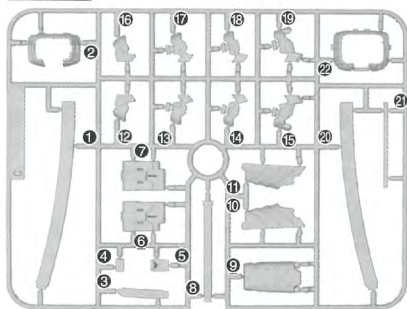
Aパーツ (スチロール樹脂: PS) **アンダーゲート有り**



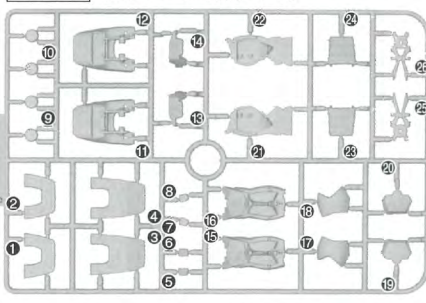
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



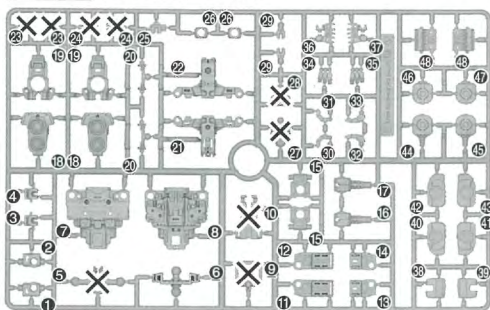
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



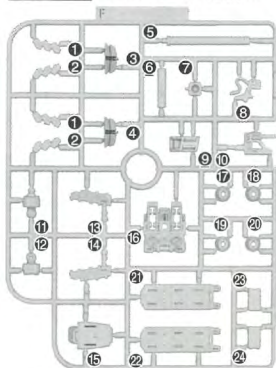
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



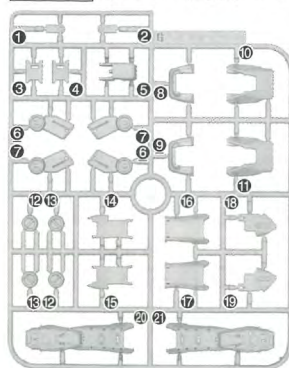
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



Fパーツ (スチロール樹脂: PS)

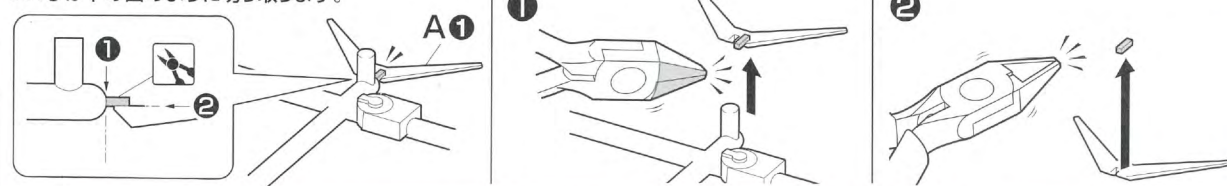


Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



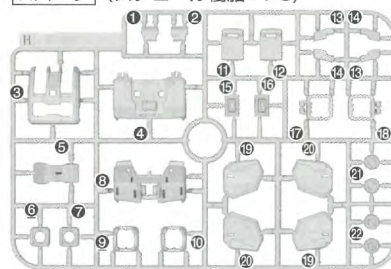
### アンダーゲートの切り方 ▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※A①は下の図のように切り取ります。

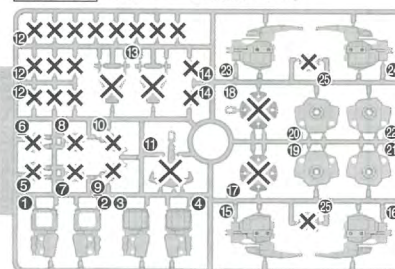


※組立図中の記号説明 切り取る部分

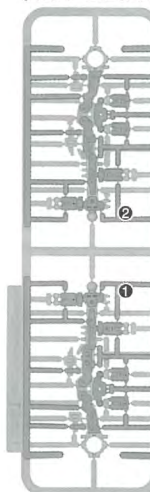
Hパーツ (スチロール樹脂: PS)



Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



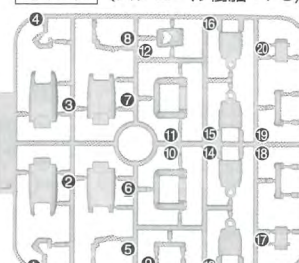
Jパーツ (ABS樹脂: ABS) (ポリプロピレン: PP)



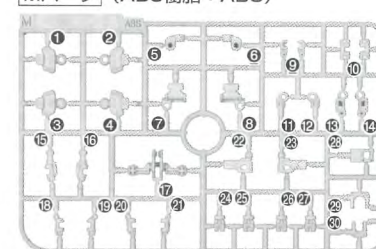
Kパーツ (スチロール樹脂: PS)



Lパーツ (スチロール樹脂: PS)



Mパーツ (ABS樹脂: ABS)



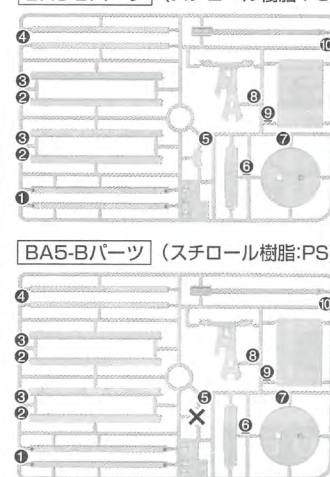
Nパーツ (スチロール樹脂: PS)



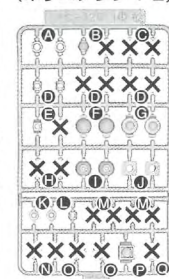
BA5-Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



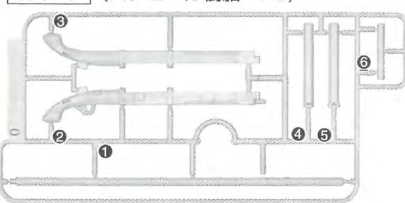
BA5-Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-126プラス (ポリエチレン: PE)



Oパーツ (スチロール樹脂: PS)

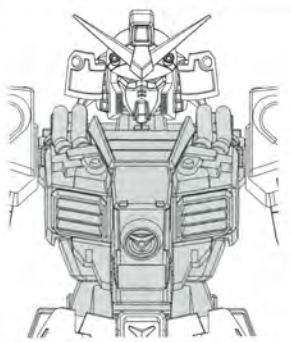


- カラーシール.....1枚
- マーキングシール.....1枚
- ガンダムデカール.....1枚
- ビス.....2本
- 木札風ネームプレート...2枚
- ナット.....2個
- 屏風カード.....2枚

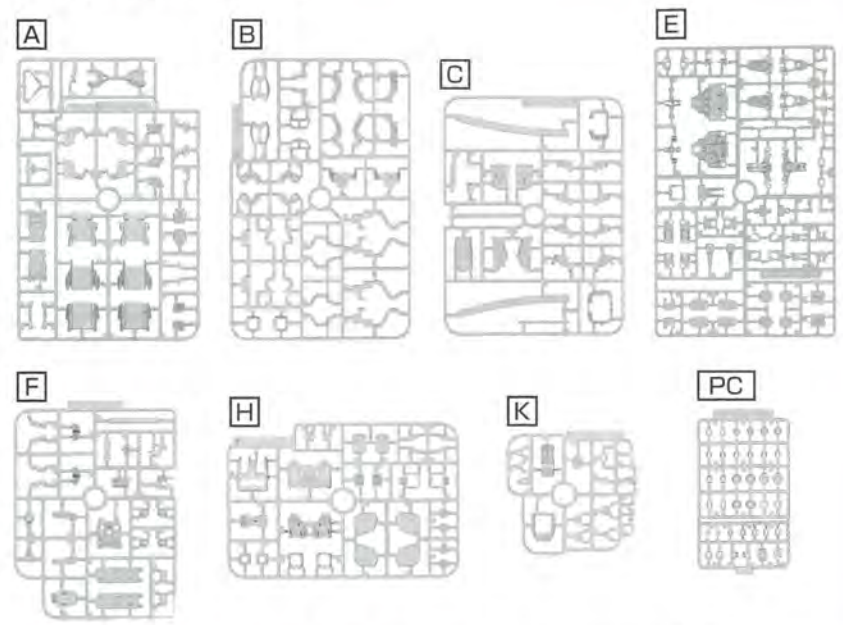


(基本説明) HOW TO  
(部品表) PARTS LIST  
(胸部) BODY UNIT  
(頭部) HEAD UNIT  
(腕部) ARM UNIT  
(脚部) LEG UNIT  
(腰部) WAIST UNIT  
(腕手)+(盾) GAUNTLET & SHIELD  
(武器) WEAPONS  
(飾り台) DISPLAY BASE  
(シール) SEAL

# 1 BODY

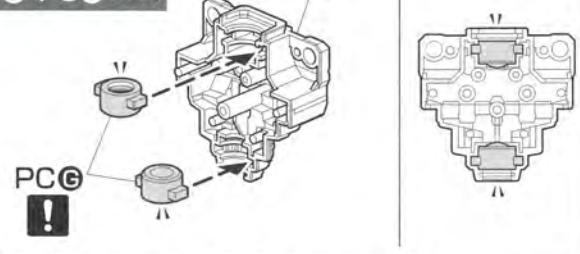


・組立1で使用するパーツ

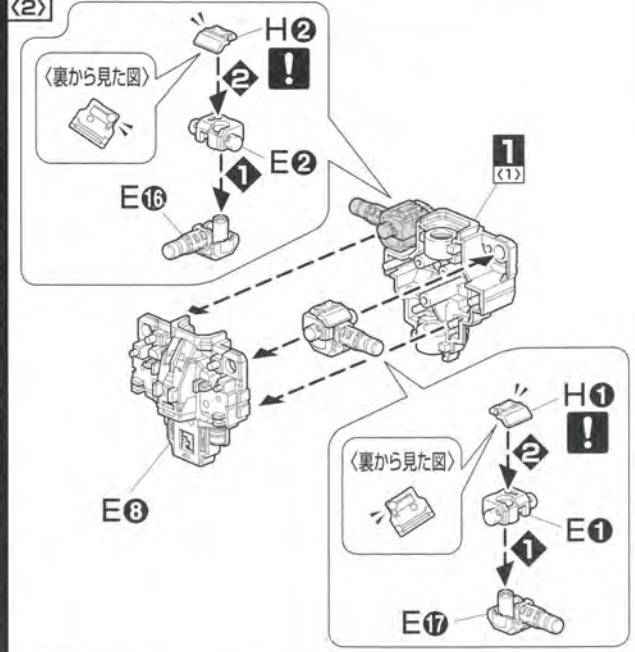


## 1 [胸部の組立]

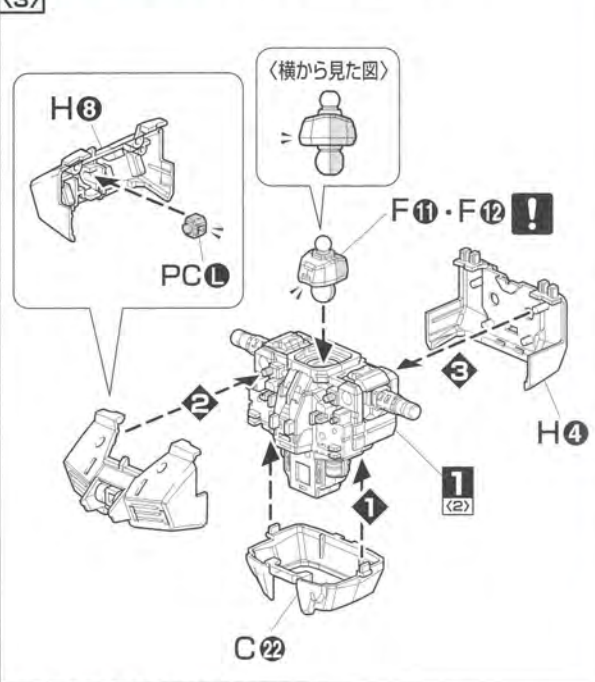
(1) BODY UNIT  
E7 PCG (x2)



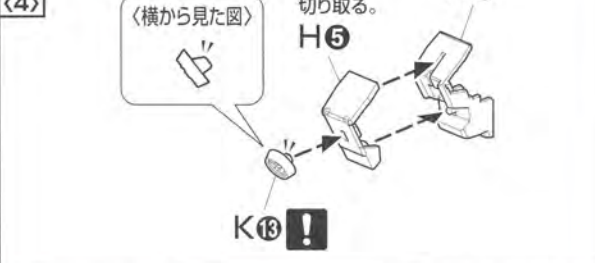
## 1 E1 E2 E8 E16 E17 H1 H2



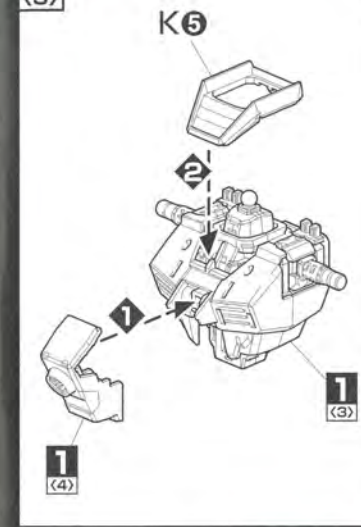
## 1 C2 F11 F12 H4 H8 PCL



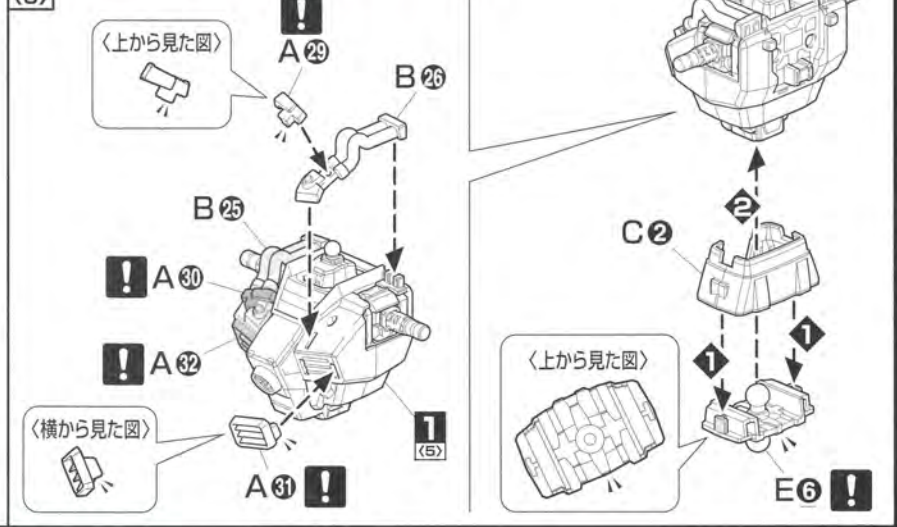
## 1 H5 K4 K10



## 1 K5

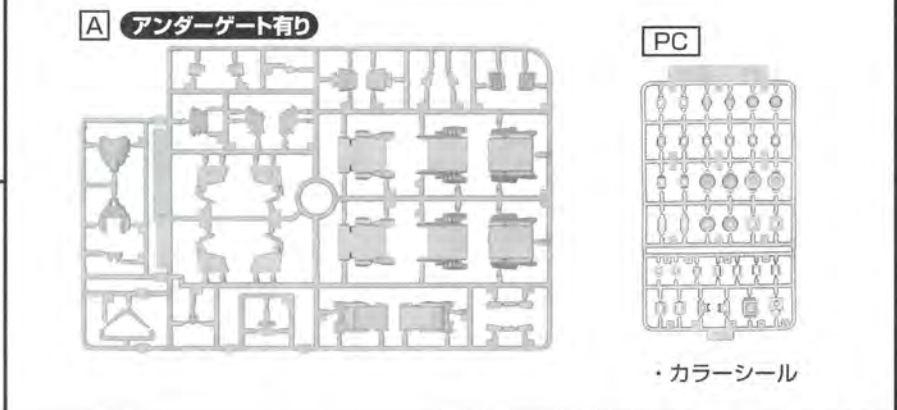
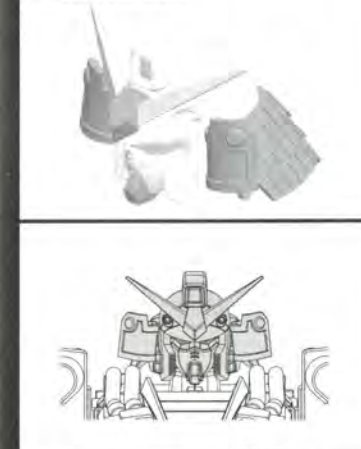


## 1 A29~A32 B25 B26 C2 E6



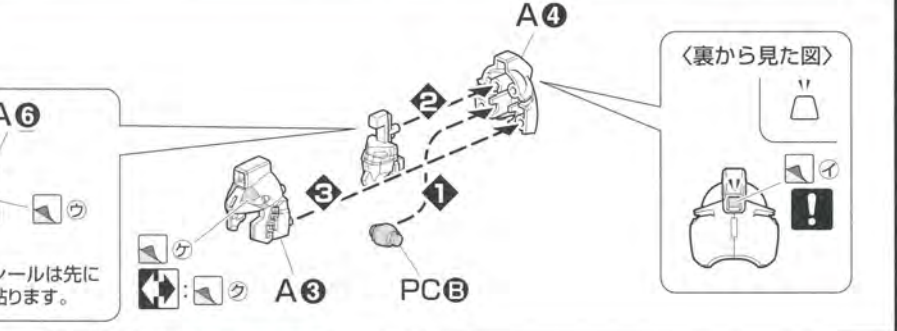
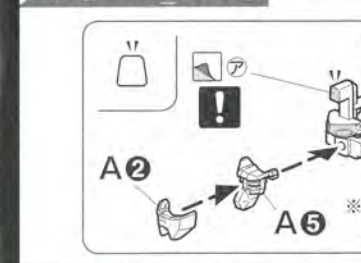
## 2 HEAD

・組立2で使用するパーツ

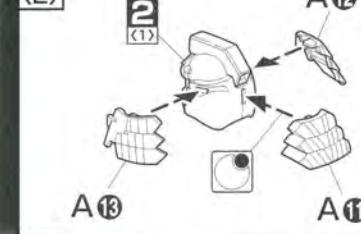


## 2 [頭部の組立]

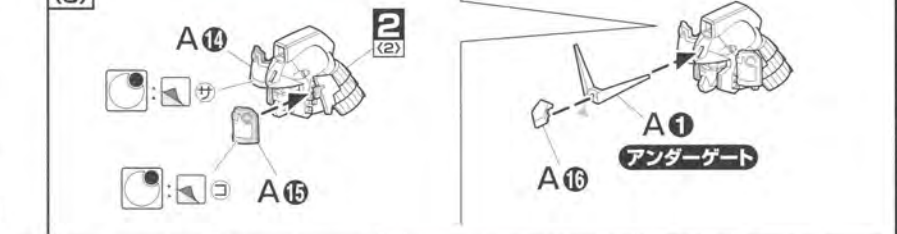
(1) HEAD UNIT  
A2~A6 PCB



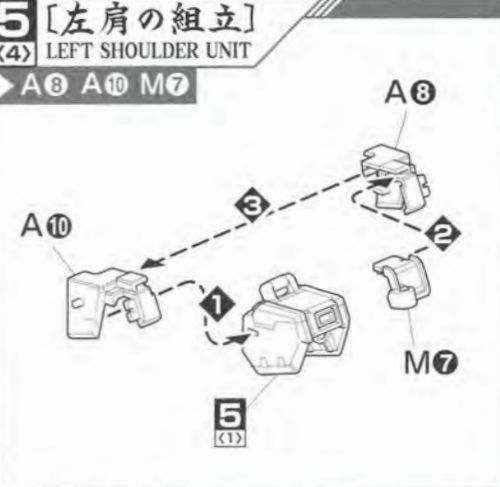
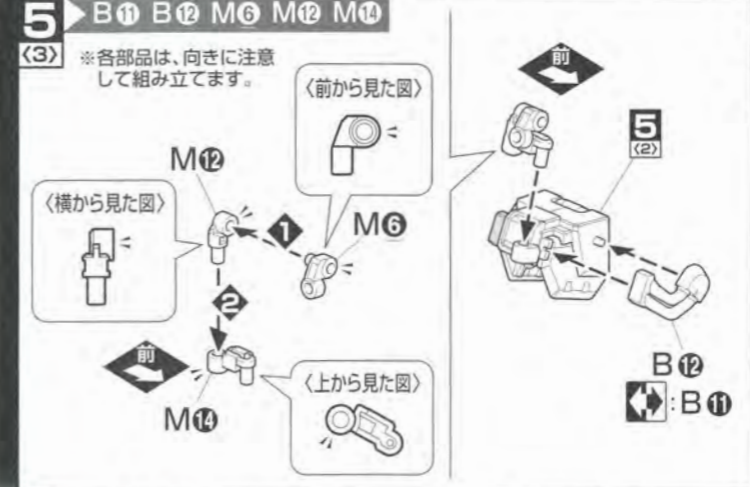
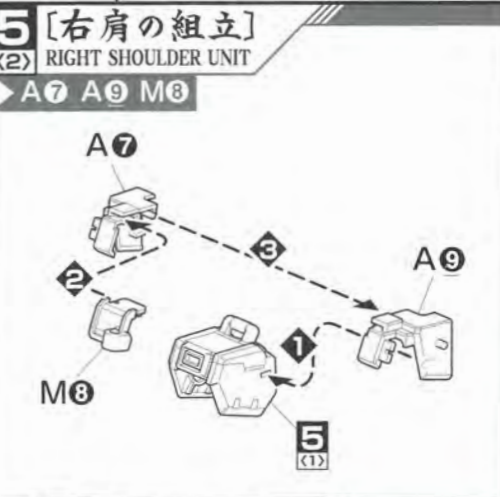
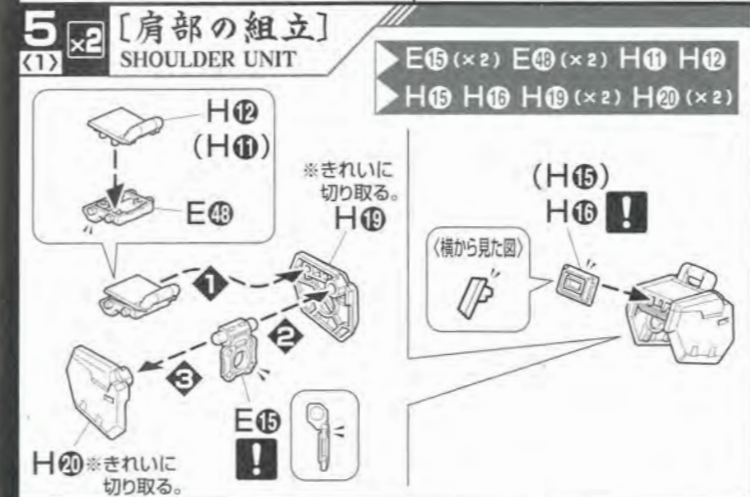
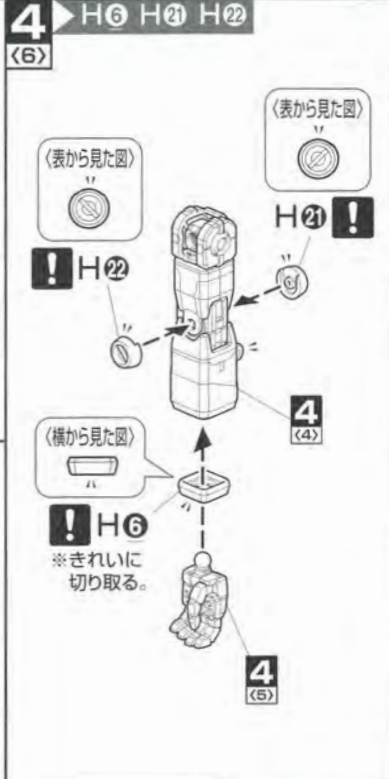
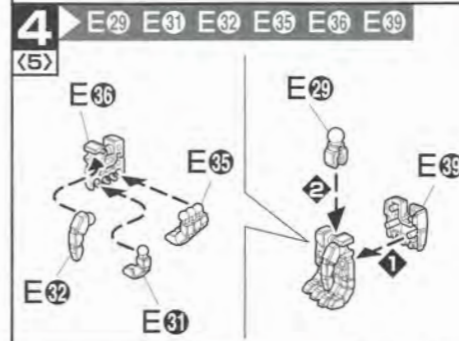
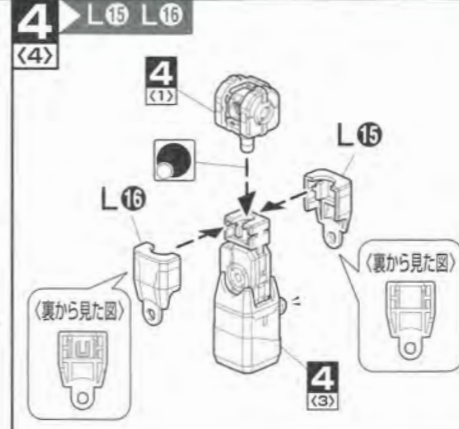
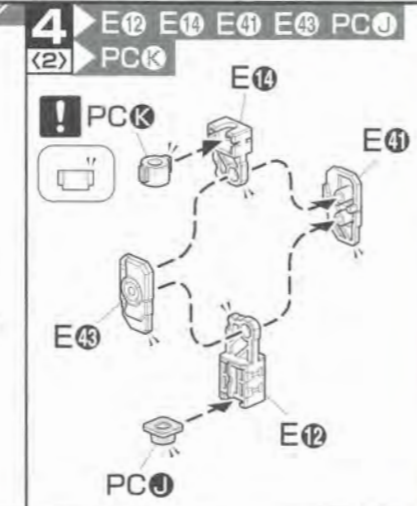
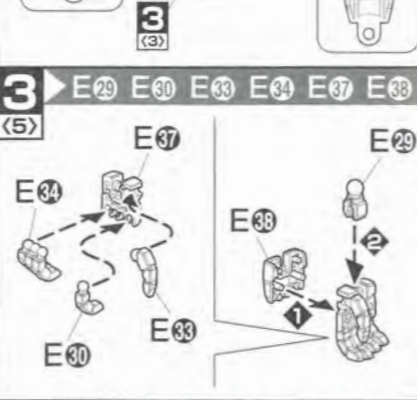
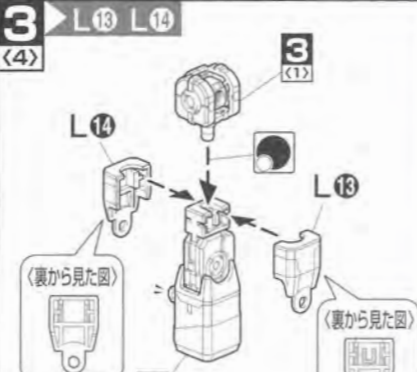
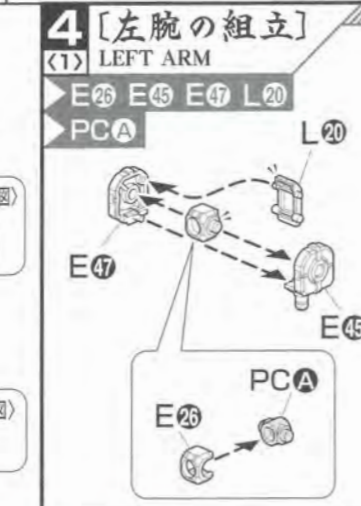
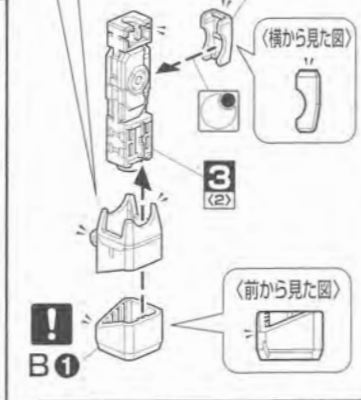
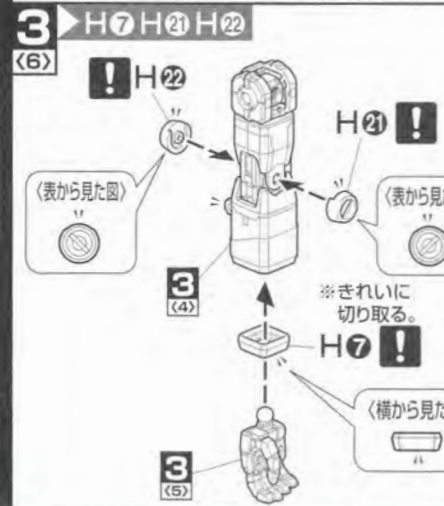
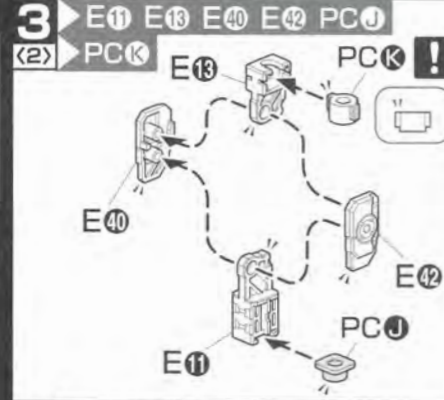
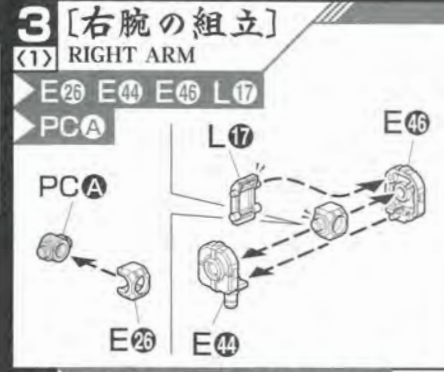
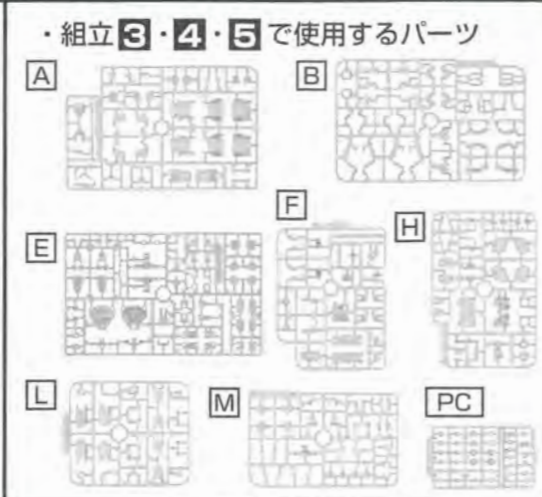
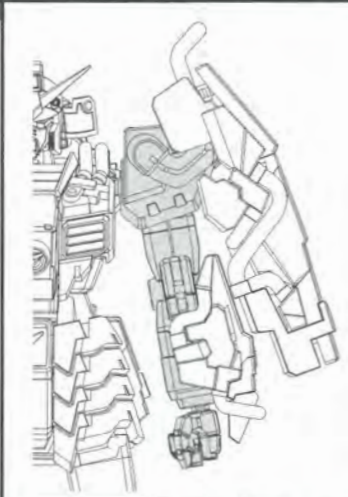
## 2 A11~A13



## 2 A1 A14~A16









【基本説明】 HOW TO  
 【部品表】 PARTS LIST  
 【胸部】1 BODY UNIT  
 【頭部】2 HEAD UNIT  
 【腕部】3~6 ARM UNIT  
 【脚部】7~9 LEG UNIT  
 【腰部】10~12 WAIST UNIT  
 【鎧手】+【盾】13~15 GAUNTLET & SHIELD  
 【武器】16~20 WEAPONS  
 【飾り台】21 DISPLAY BASE  
 【シール】 SEAL

### 5 ▶ B11 B12 M6 M10 M13

(5) ※各部品は、向きに注意して組み立てます。

〈前から見た図〉  
 〈横から見た図〉  
 〈上から見た図〉

前

### 6 [上半身の完成] UPPER BODY

2で作った頭部  
 5で作った右肩  
 1で作った胸部  
 5で作った左肩  
 3で作った右腕  
 4で作った左腕

※ここで先に鎧手と盾を組んで取り付けたい方はP19「GAUNTLET&SHIELD」を参照して取り付けてください。

### 789 LEG

・組立7・8・9で使用するパーツ

B	D
E	F
I	J
L	M
PC	

・ビス(×2)  
 ・ナット(×2)

### 7 (1) x2 [脚部の組立] LEG UNIT

D1 D2 E3 E4 E10 (×2)  
 E10 (×2) G8 G9 PC F (×2)

(G9) G8  
 (E3) (E4)  
 E19

裏返します

D1 ※きれいに(D2)切り取る。

### 7 (2) x2 ▶ D3 D4 D11 D12 G10 G11

(G11) G10  
 (D12) D11  
 7 (1)

D3 ※きれいに(D4)切り取る。

### 8 [右脚の組立] RIGHT LEG

(1) J2

※図のように引きだして、戻します。

※矢印の向きに注意して回転させてください。

※補助パーツは指で押してはしずします。

### 8 (2) 8 (1) 21 22

ビス

21

22 ナット

※シリンダーは図の位置にパチッとはめ込みます。

※シリンダーは図の位置にパチッとはめ込みます。

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。

### 8 (3) 12 13 15 23 L3 L7 M1 M3 PC1

12

13

PC1

15

23

8 (2)

L3

L7

M1

M3



**8** ▶ E20 G12 G13 G15 G17 G21

**(4)**

! G12  
! G13  
G21  
G15  
E20  
G17  
7

《表から見た図》

**8** ▶ B17 B21 D5 D10 G19

**(5)**

B17  
G19  
D10  
B21  
D5  
G19  
B21  
D5

**8** ▶ B19 D8~D10 D14 D26 K12

**(9)**

※きれいに切り取る。D26  
※きれいに切り取る。D14  
B19  
D9  
D10  
D8  
K12  
《横から見た図》

**9** [左脚の組立]

**(1)** LEFT LEG

**J1**

※図のように引きだして、戻します。

**8** ▶ D24 F1 F2

**(6)**

D24  
F2  
F1

**8** ▶ B14 B16 D16 D20 D22 F4

**(7)**

D22  
D20  
B14  
D16  
B16  
F4  
※きれいに切り取る。

**9** **(2)**

※補助パーツは指で押してはしません。  
※矢印の向きに注意して回転させてください。  
補助パーツ  
90°  
90°  
90°  
補助パーツ

補助パーツ

※図のように、補助パーツを使ってシリンダーを引き出します。

**8** ▶ B23 G3 G6 G7

**(8)**

B23  
G7  
G6  
G3  
《横から見た図》

**9** ▶ 1 4 16 19 20 24 PC1

**(3)**

1  
4  
19  
20  
24  
PC1  
ナット  
ビス  
※シリンダーは図の位置にパチッとはめ込みます。  
※シリンダーは図の位置にパチッとのはめ込みます。

**9** **(2)**

ナット  
ビス  
※シリンダーは図の位置にパチッとのはめ込みます。

1  
4  
16  
24  
PC1



## 真武者頑駄無 戦国の陣「龍・鳳凰図屏風」

真武者頑駄無の背面に飾られている龍と鳳凰の屏風。屏風の歴史は古く、日本では「日本書紀」にもその名が確認できる。特に襖を二枚綴じ合わせた形態は「二曲屏風」と呼ばれ、戦国時代に生まれた物と言われている。屏風に描かれるモチーフは様々あるが、とりわけ龍と鳳凰は多くの絵師に好まれて描かれた事で馴染みが深く、現代でも様々な作品が遺され、日本国内外を問わず芸術としての価値は高く評価されている。「武者ガンダム」の歴史の中でも龍と鳳凰は関係が深く、武者や武器の意匠、名称等に多く採用されている。特に鳳凰は、武者ガンダム達の出世した姿の代表格である「頑駄無大將軍」の重要な要素であり、SDガンダムBB戦士シリーズで綴られる物語の中では「結晶鳳凰（クリスタルフェニックス）」を持つに相応しいとされる者がその力を得て、大將軍となる事が出来る。合戦に臨む武將さながらに、厳かに飾られた数々の武具とあわせ、「龍・鳳凰図屏風」はまさに真武者頑駄無を豪華に飾るのに相応しい物と言えるだろう。

龍・鳳凰図屏風イラスト作成：森下直樹



槍/薙刀台

龍・鳳凰図屏風シート

木札風ネームプレート 銃/刀台 飾り台

※飾り台は、上の写真及びP24からの組立説明を参考に各パーツを飾り付けてください。



薙刀「電光丸」  
DENKOU MARU

槍「敵光丸」  
SANKOU MARU

真武者頑駄無本体をディスプレイ可能な専用の飾り台には、龍と鳳凰が描かれた金屏風イメージシートをはじめ、各種武器を飾ることができる各種台座や「真武者頑駄無」「戦国の陣」の2種類の名称を箔押しシールで再現できる木札風ネームプレート2枚が付属。

火砲「種子島」  
TANEGASHIMA



太刀「日輪丸」  
NICHIRIN MARU



肩関節の可動軸により、肩の力強いアクションが可能。

巨大な肩アーマーは基部の多重関節により、真武者頑駄無のアクションを妨げる事なく可動。

機体各部の紋章や、複雑な面で構成された鎧に絡みつく組紐の様なパイプティテールを再現。

武器保持用のピンと手首の可動により、様々なアクションに対応。

※写真はバンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用しています。

脚部フレームは一体成型の特殊パーツを使用し、ギミックと精密感を追求。爪先は大きく可動し、高い接地性を実現。

股関節にスライドギミックを採用し、膝立ち等のポーズを自然に再現。

腰アーマーは裏打ちの構造により、表面がしなやかに軋む「錯らしさ」を再現。

## 真武者頑駄無の活躍

「ガンダム無双」シリーズで最強クラスのキャラクターとして一躍話題になった「武者ガンダム」は、作品ごとにその立ち振る舞いに多少の変化があり、その点においても謎の多い存在である。開発者、開発経緯を含め全てが不明であり、機体自体に思わしきものがあり自ら行動していた記録も残されているものの、「ガンダム無双2」ではその兆候は見られない。機体そのものの性能は非常に高く、格闘と防御においては全機体中トップである。槍と薙刀を使った乱舞や突進、居合い斬りのように繰り出す衝撃波はどれも強力で、幾多の敵を一瞬で蹴散らす事が可能である。その強大な力の前には、何者もひれ伏すのみ...とされている。



▲SP攻撃レベル1。槍と薙刀を使った乱舞。



▲レベル2。槍と薙刀を合体させ、突進する！



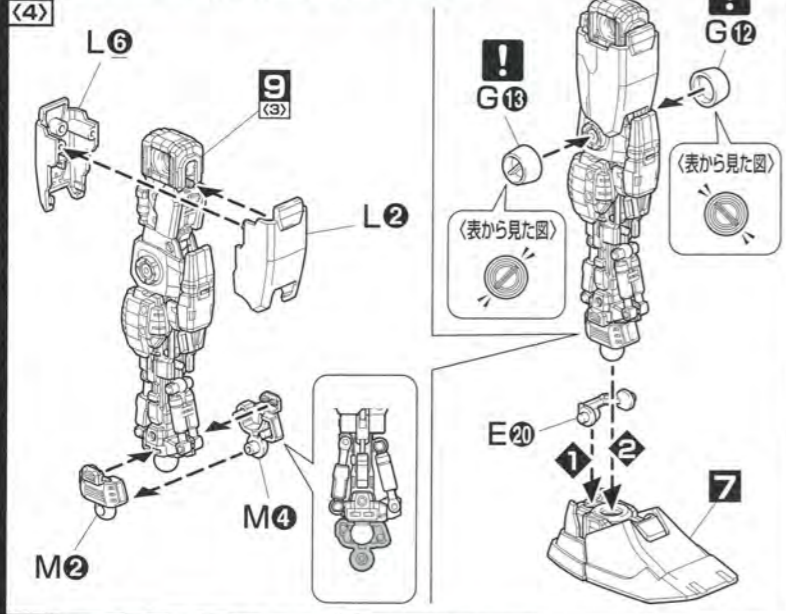
▲そしてレベル3。居合い斬りの様なアクションで、巨大な衝撃波を打ち出す！

※画面は「ガンダム無双 SPECIAL」のものです。

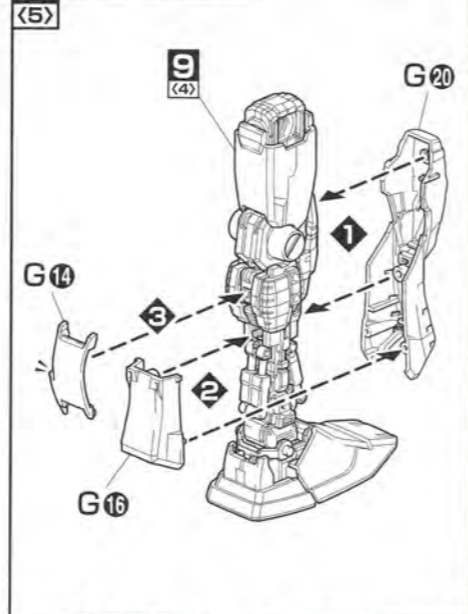


(基本説明) HOW TO  
 (部品表) PARTS LIST  
 (胸部) 1 BODY UNIT  
 (頭部) 2 HEAD UNIT  
 (腕部) 3~6 ARM UNIT  
 (脚部) 7~9 LEG UNIT  
 (腰部) 10~12 WAIST UNIT  
 (籠手)+(盾) 13~15 GAUNTLET & SHIELD  
 (武器) 16~20 WEAPONS  
 (飾り台) 21 DISPLAY BASE  
 (シール) SEAL

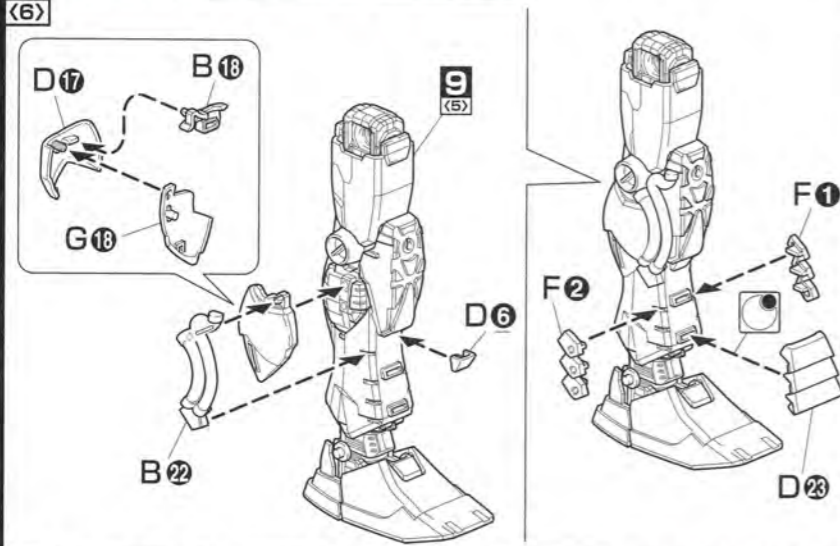
9 ▶ E20 G12 G13 L2 L6 M2 M4



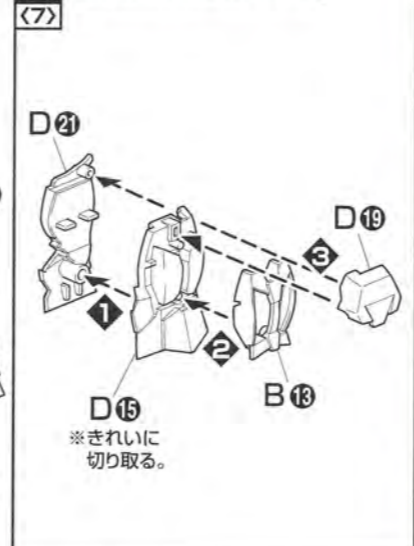
9 ▶ G14 G16 G20



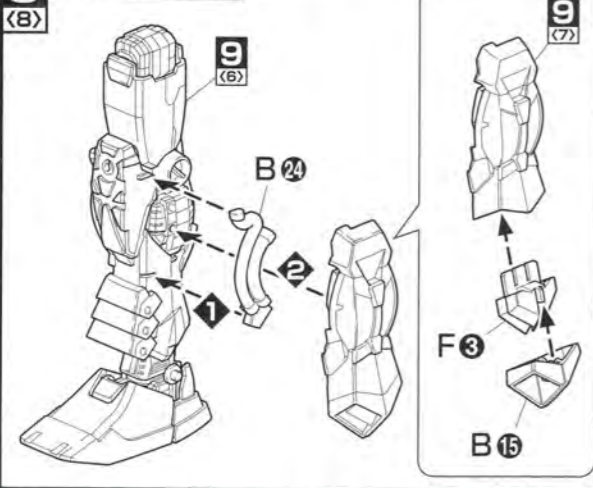
9 ▶ B18 B22 D6 D7 D23 F1 F2 G18



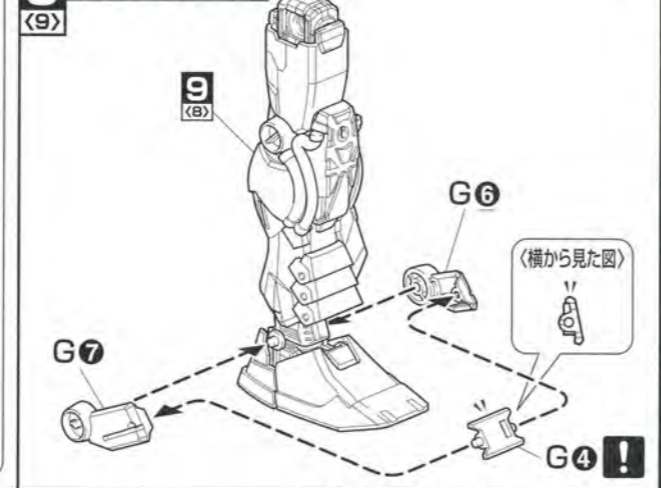
9 ▶ B18 D15 D19 D21



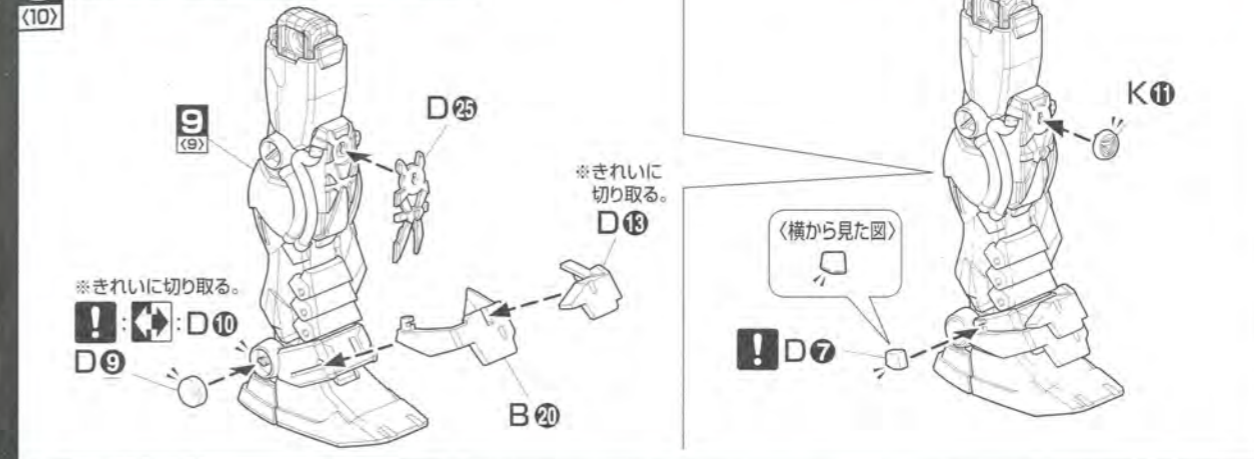
9 ▶ B15 B24 F3



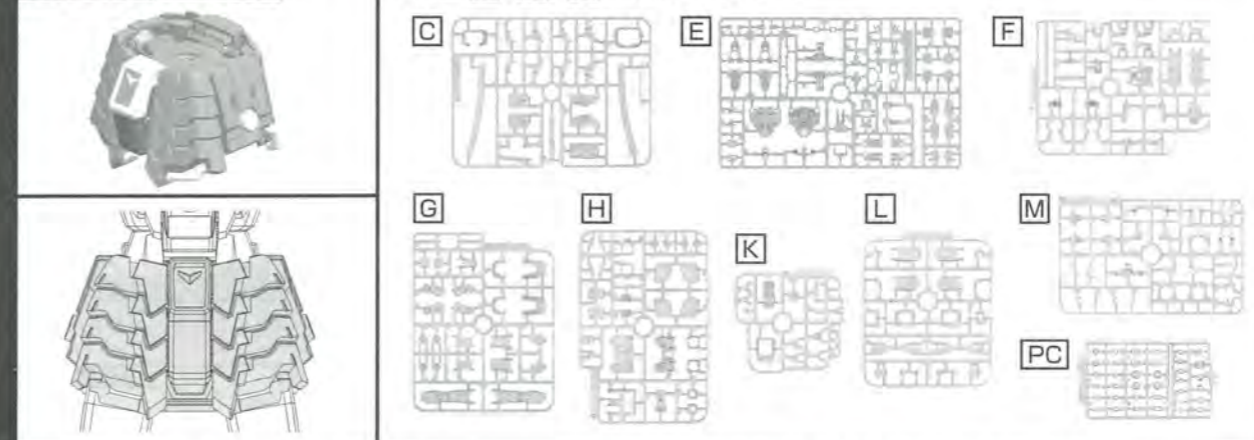
9 ▶ G4 G6 G7



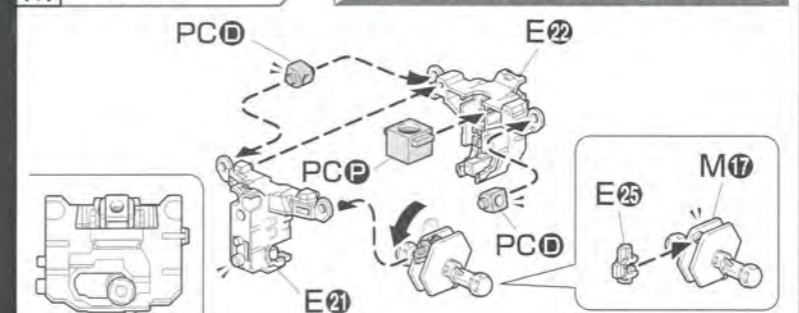
9 ▶ B20 D7 D9 D10 D13 D25 K11



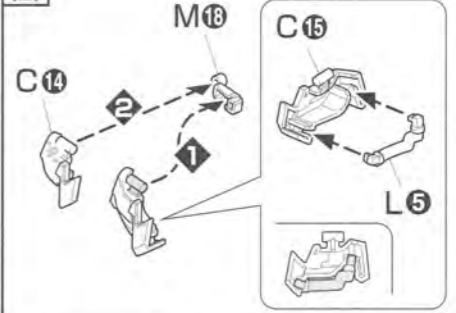
10 11 12 WAIST



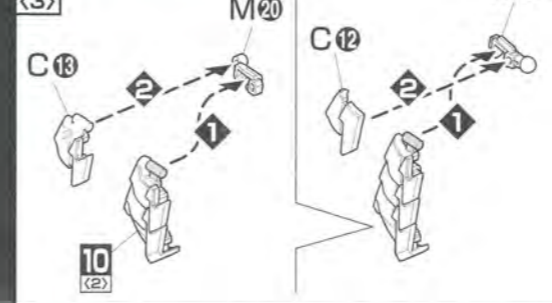
10 [腰部の組立] (1) WAIST UNIT



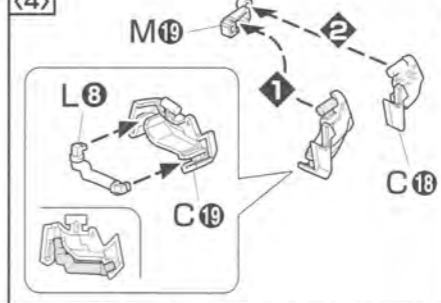
10 (2) C14 C15 L5 M18



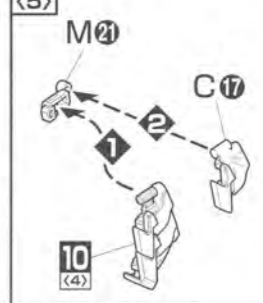
10 (3) C12 C13 M15 M20



10 (4) C18 C19 L8 M19



10 (5) C17 M21



(基本説明) HOW TO  
 (部品表) PARTS LIST  
 (胸部) 1 BODY UNIT  
 (頭部) 2 HEAD UNIT  
 (腕部) 3~6 ARM UNIT  
 (脚部) 7~9 LEG UNIT  
 (腰部) 10~12 WAIST UNIT  
 (籠手)+(盾) 13~15 GAUNTLET & SHIELD  
 (武器) 16~20 WEAPONS  
 (飾り台) 21 DISPLAY BASE  
 (シール) SEAL



【基本説明】 HOW TO  
 【部品表】 PARTS LIST  
 【胸部】1 BODY UNIT  
 【頭部】2 HEAD UNIT  
 【腕部】3~6 ARM UNIT  
 【脚部】7~9 LEG UNIT  
 【腰部】10~12 WAIST UNIT  
 【腕手】+【盾】13~15 GAUNTLET & SHIELD  
 【武器】16~20 WEAPONS  
 【飾り台】21 DISPLAY BASE  
 【シール】 SEAL

10 ▶ C16 M16  
 (6)

10 ▶ C5 G1 G2 G5 K3 L12  
 (7)

10 ▶ C9~C11 F13~F15 L1 L4 L9  
 (8)

11 [下半身の完成]  
 LOWER BODY  
 ▶ C6 C7 K1 K2

10 で作った腰部  
 8 で作った右脚  
 9 で作った左脚

12 [完成]  
 (1) FINAL ASSEMBLE

12 ▶ F16 H3 M22 M23 M29 M30 PCE  
 (2)

12 ▶ F17~F20 M24~M28  
 (3)

13 14 15 GAUNTLET & SHIELD

・組立 13・14・15 で使用するパーツ

13 x2 [籠手の組立]  
 (1) GAUNTLET  
 ▶ A17 A18 A27 A28  
 B3 B4

13 x2 (2) ▶ M9 (x2) M10 (x2) L18 L19

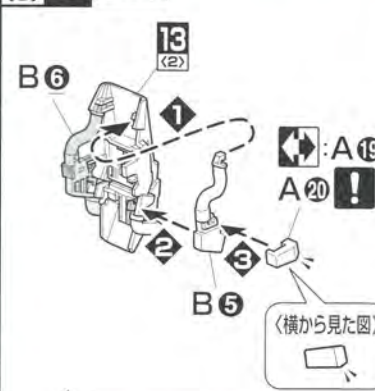
※L18(L19)は、ピンを切り取らないように注意してください。

※組立図中の記号説明  
 180 数値に合わせて回転させます。  
 x2 部品を数値の個数作ります  
 180 両側を同じように動かす

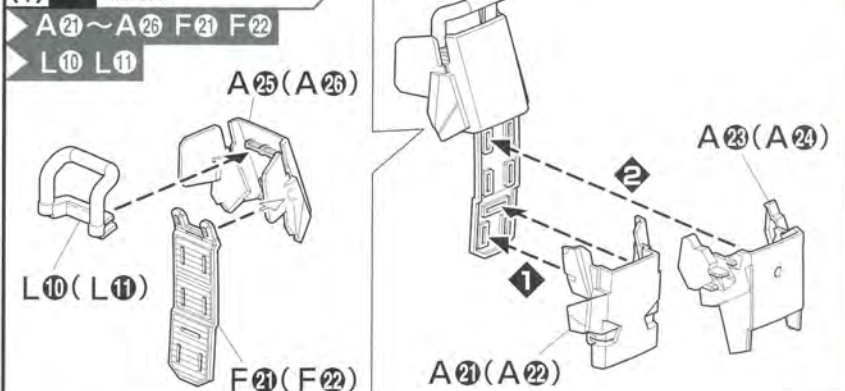


【基本説明】 HOW TO  
 【部品表】 PARTS LIST  
 【胸部1】 BODY UNIT  
 【頭部2】 HEAD UNIT  
 【腕部3~6】 ARM UNIT  
 【脚部7~9】 LEG UNIT  
 【腰部10~12】 WAIST UNIT  
 【鎧手+(盾)13~15】 GAUNTLET & SHIELD  
 【武器16~20】 WEAPONS  
 【飾り台21】 DISPLAY BASE  
 【シール】 SEAL

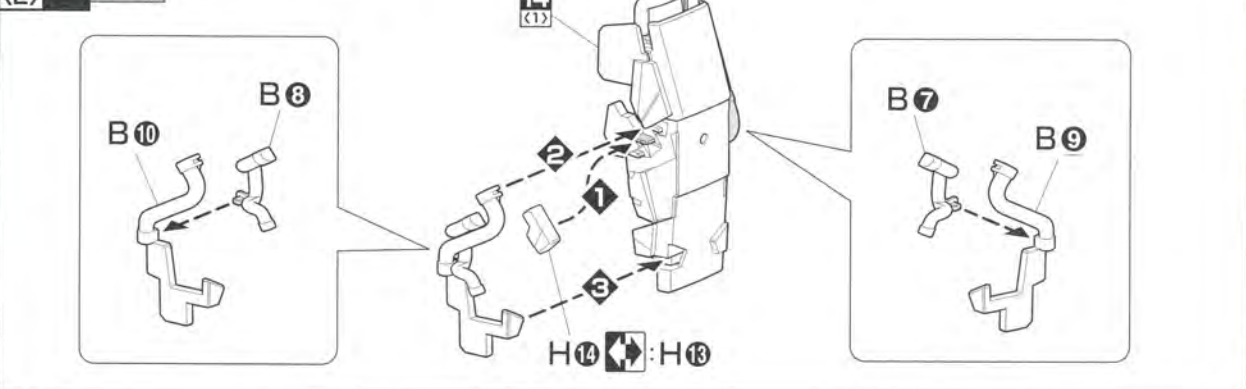
**13** x2  
 A19 A20 B6 B6  
 各2個



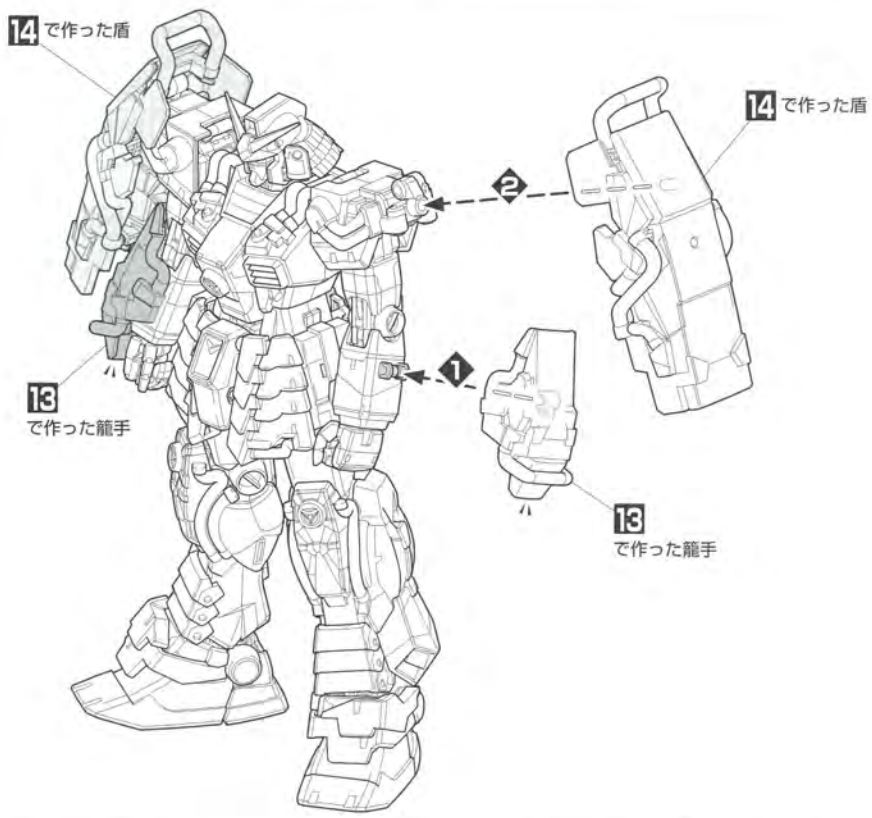
**14** x2  
 SHIELD  
 A21~A26 F21 F22  
 L10 L11



**14** x2  
 B7~B10 H13 H14  
 各2個



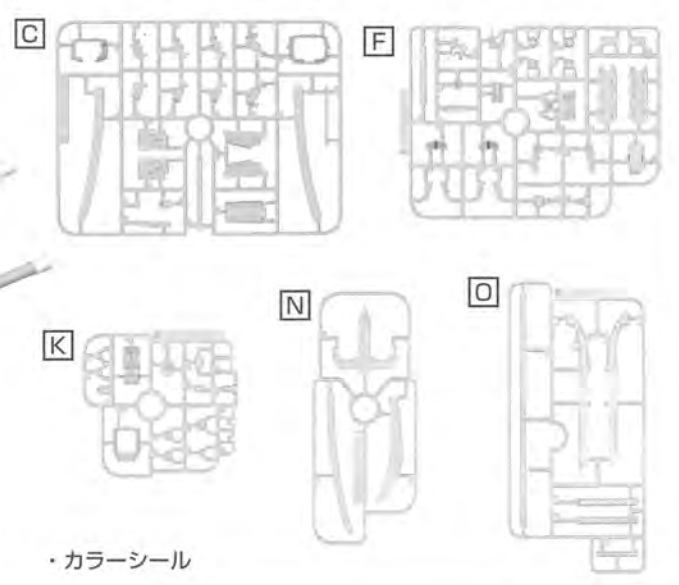
**15**



**16 17 18 19 20 WEAPONS**



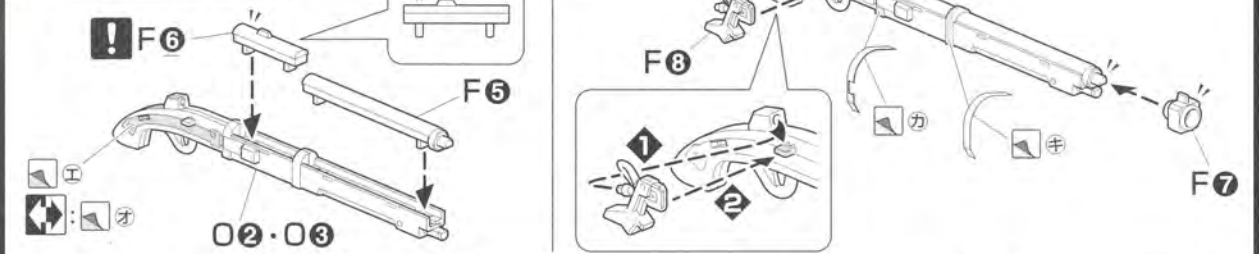
・組立16・17・18・19・20で使用するパーツ



・カラーシール

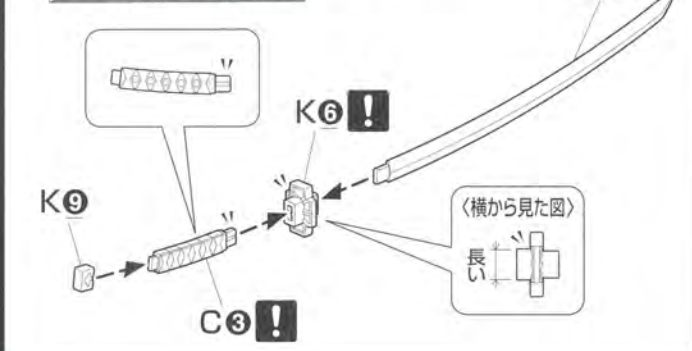
**16** [火砲「種子島」の組立]

F5~F8 O2 O3

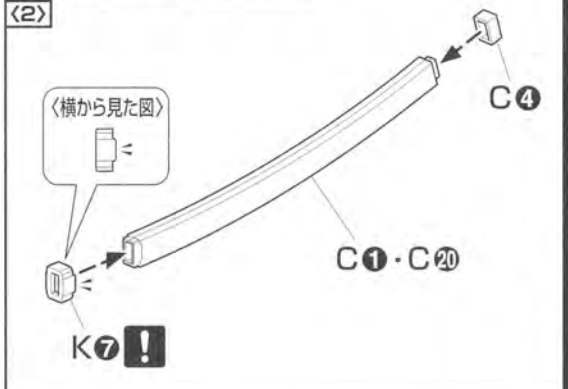


**17** [太刀「日輪丸」の組立]

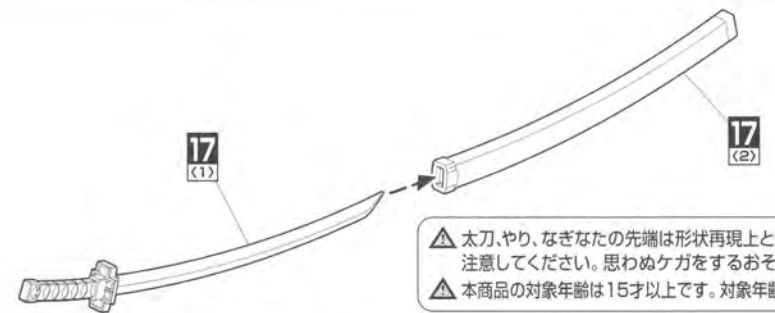
C3 K6 K9 N1



**17** C1 C4 C20 K7



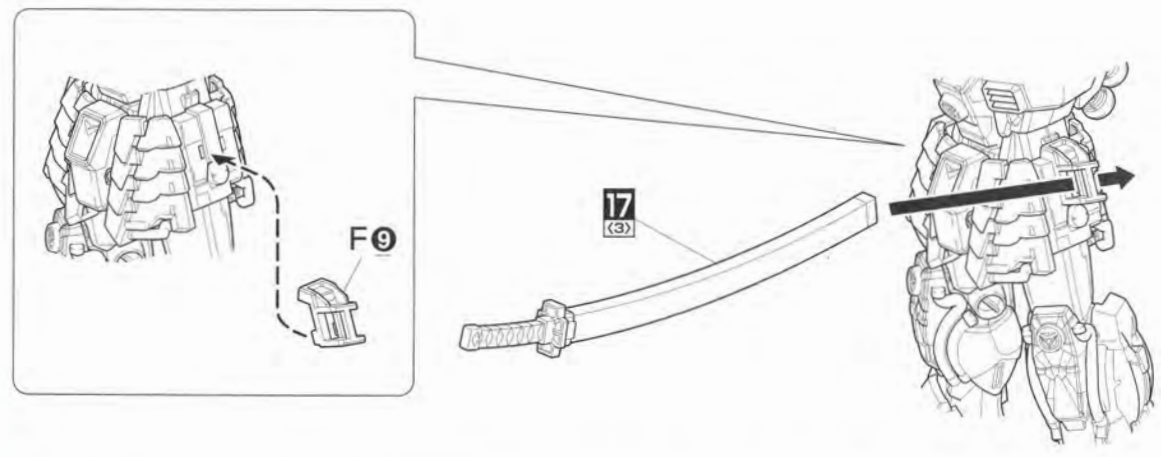
**17** x3



▲ 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。  
 ▲ 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。

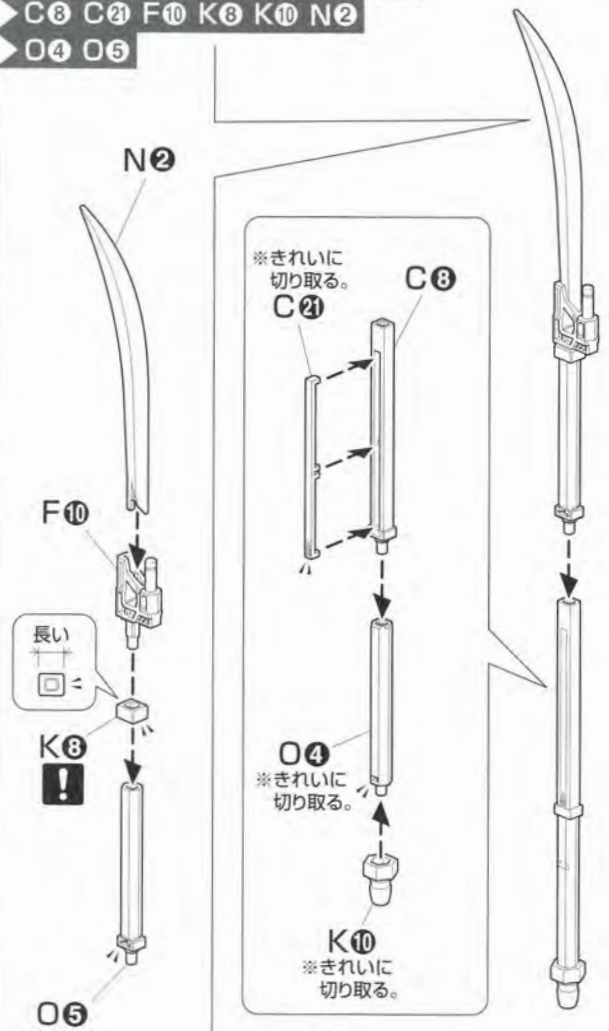


17 ▶ F9  
(4)



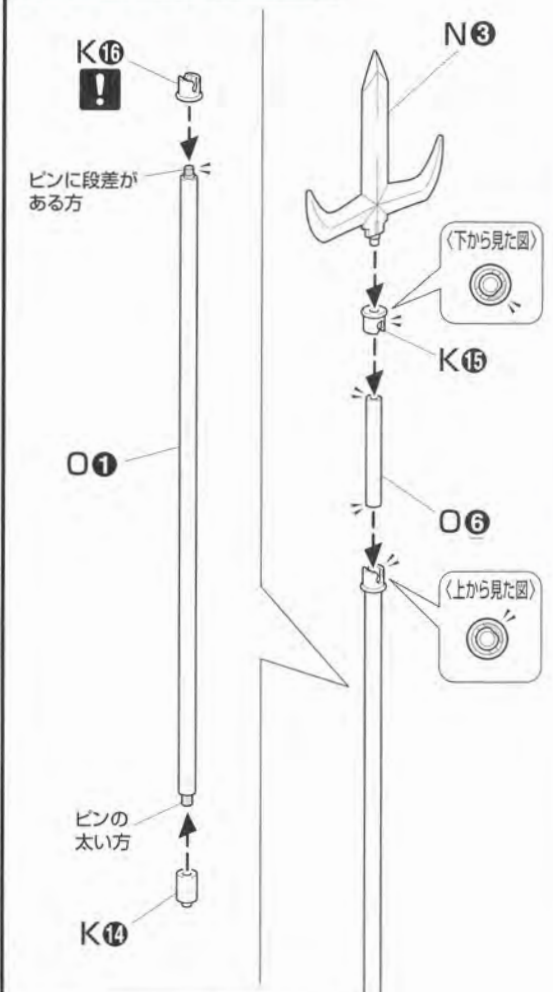
18 [薙刀「電光丸」の組立]

- C8 C21 F10 K8 K10 N2  
 O4 O6



19 [槍「散光丸」の組立]

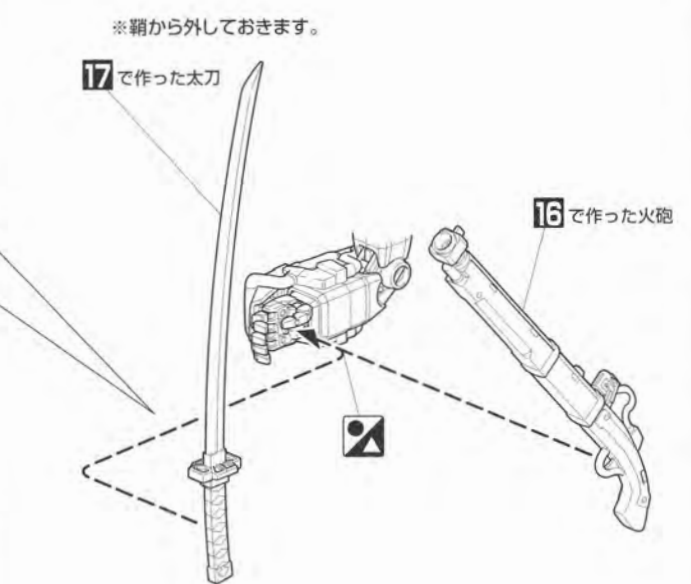
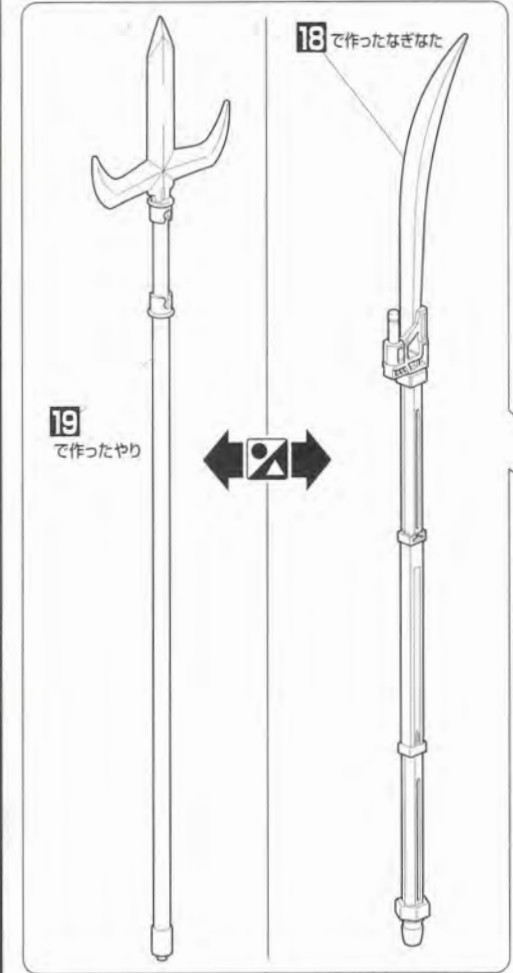
- K14~K16 N3 O1 O6



⚠ 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。  
 ⚠ 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。

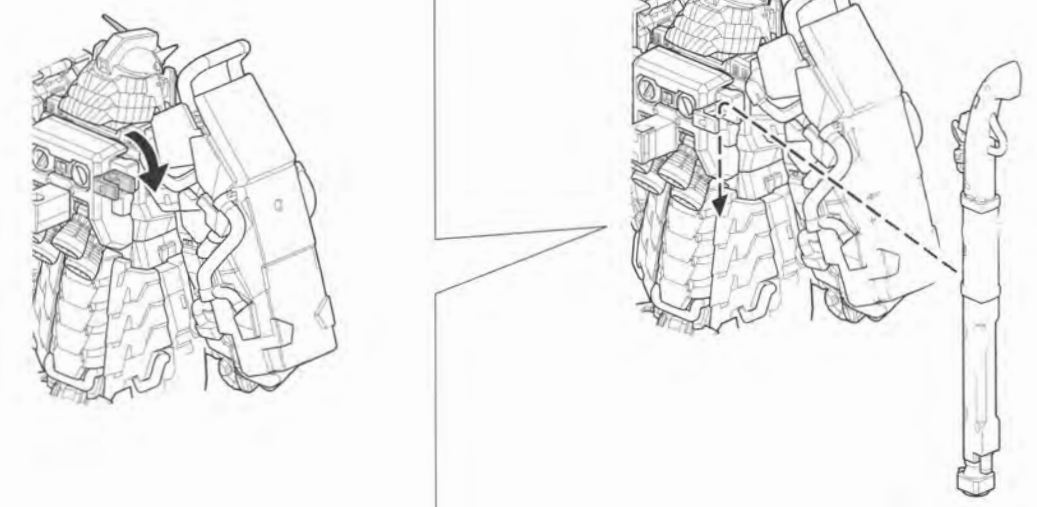
※組立図中の記号説明  
 ! 向きに注意して組み立てる

20 [武器の装備]  
(1) WEAPONS EQUIPMENT



⚠ 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。  
 ⚠ 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。

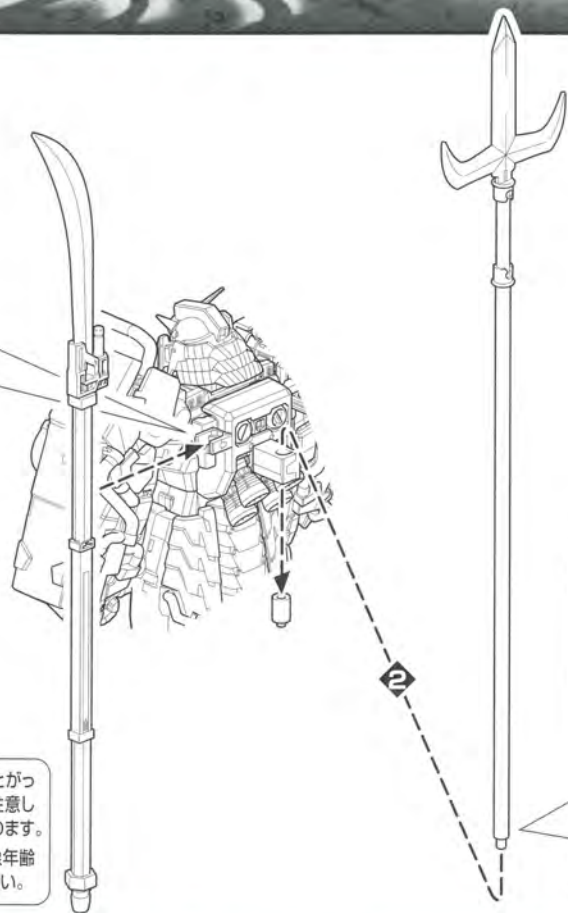
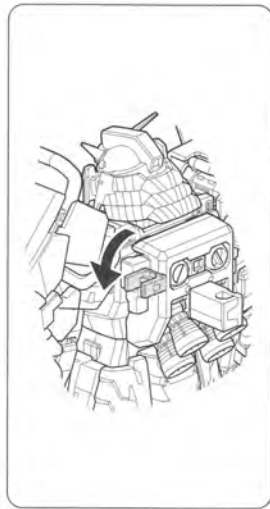
20  
(2)



※組立図中の記号説明  
 ◀ ▶ どちらかを選んで取りつける



20  
 (3)



※ K10を外しておきます。



- △ 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- △ 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。

21 DISPLAY BASE

・組立21で使用するパーツ

BA5-A

BA5-B (x2)

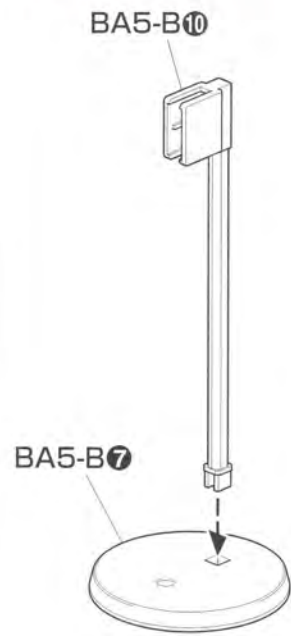


- ・木札用ネームプレート (x2)
- ・屏風カード (x2)

21 [飾り台の組立]

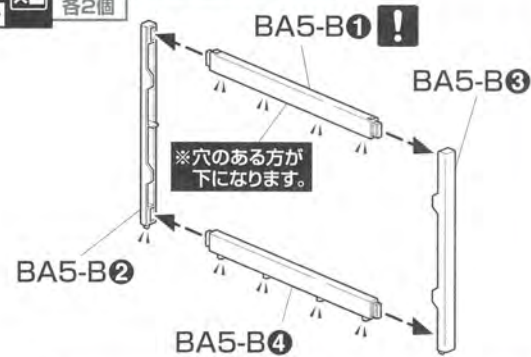
〈1〉 DISPLAY BASE

x2 BA5-B7 BA5-B10  
 各2個



21 x2 BA5-B1 ~ BA5-B4

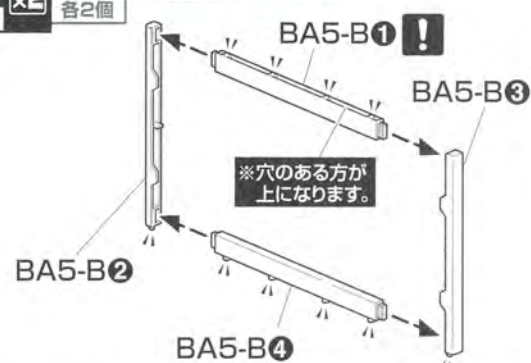
(2) 各2個



※ 穴のある方が下になります。

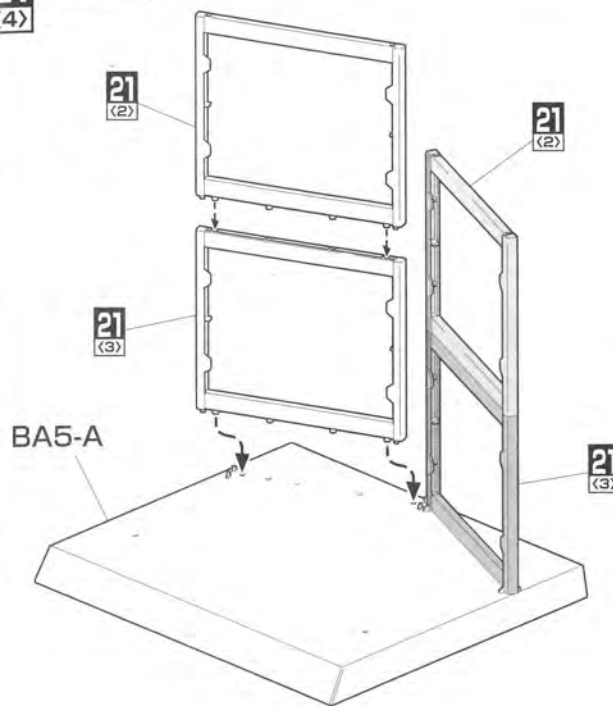
21 x2 BA5-B1 ~ BA5-B4

(3) 各2個

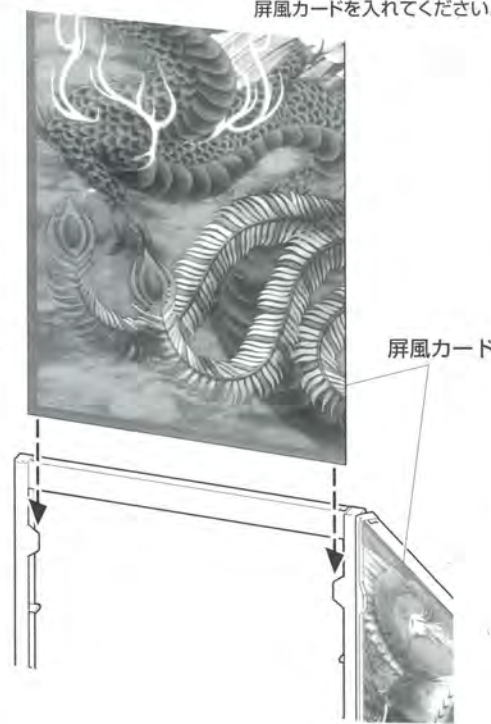


※ 穴のある方が上になります。

21 BA5-A  
 (4)



※ パッケージ等を参考に屏風カードを入れてください。

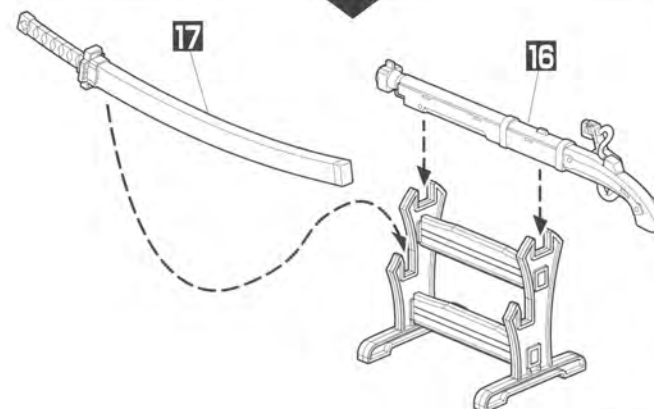
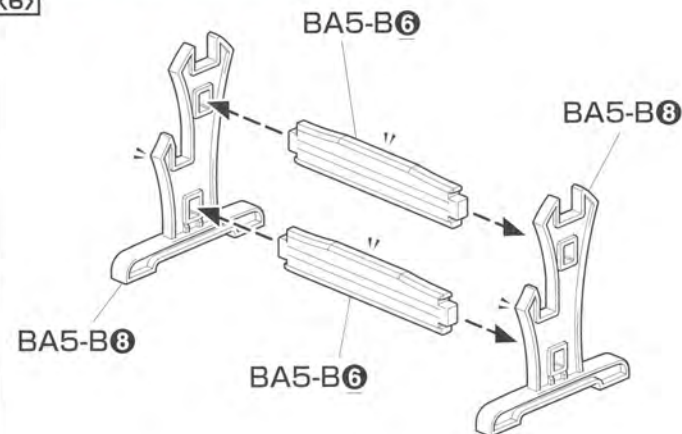


屏風カード

21 BA5-B6  
 (5)



21 BA5-B6 (x2) BA5-B8 (x2)  
 (6)

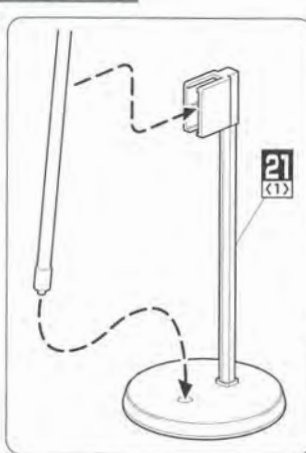




21 BA5-B9

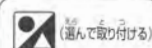
(7)

※写真を参考に配置してください。



21 (1)

BA5-B9 木札風ネームプレート



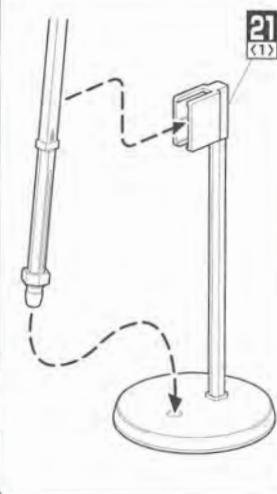
BA5-B9

木札風ネームプレート



※木札風ネームプレートは写真を参考に貼ってください。

21 (6)



21 (1)

△ 太刀、やり、なぎなたの先端は形状再現上とがっており危険です。取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。  
 △ 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。

Seal 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

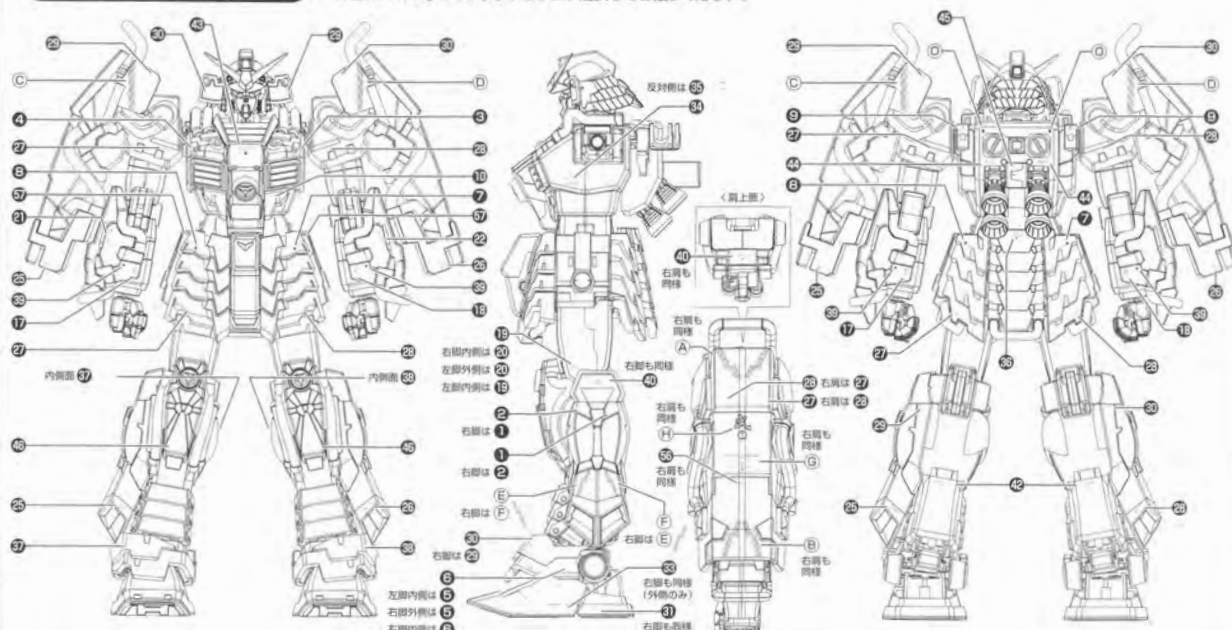
〈シール〉 【ガンダムデカールの貼りかた】

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

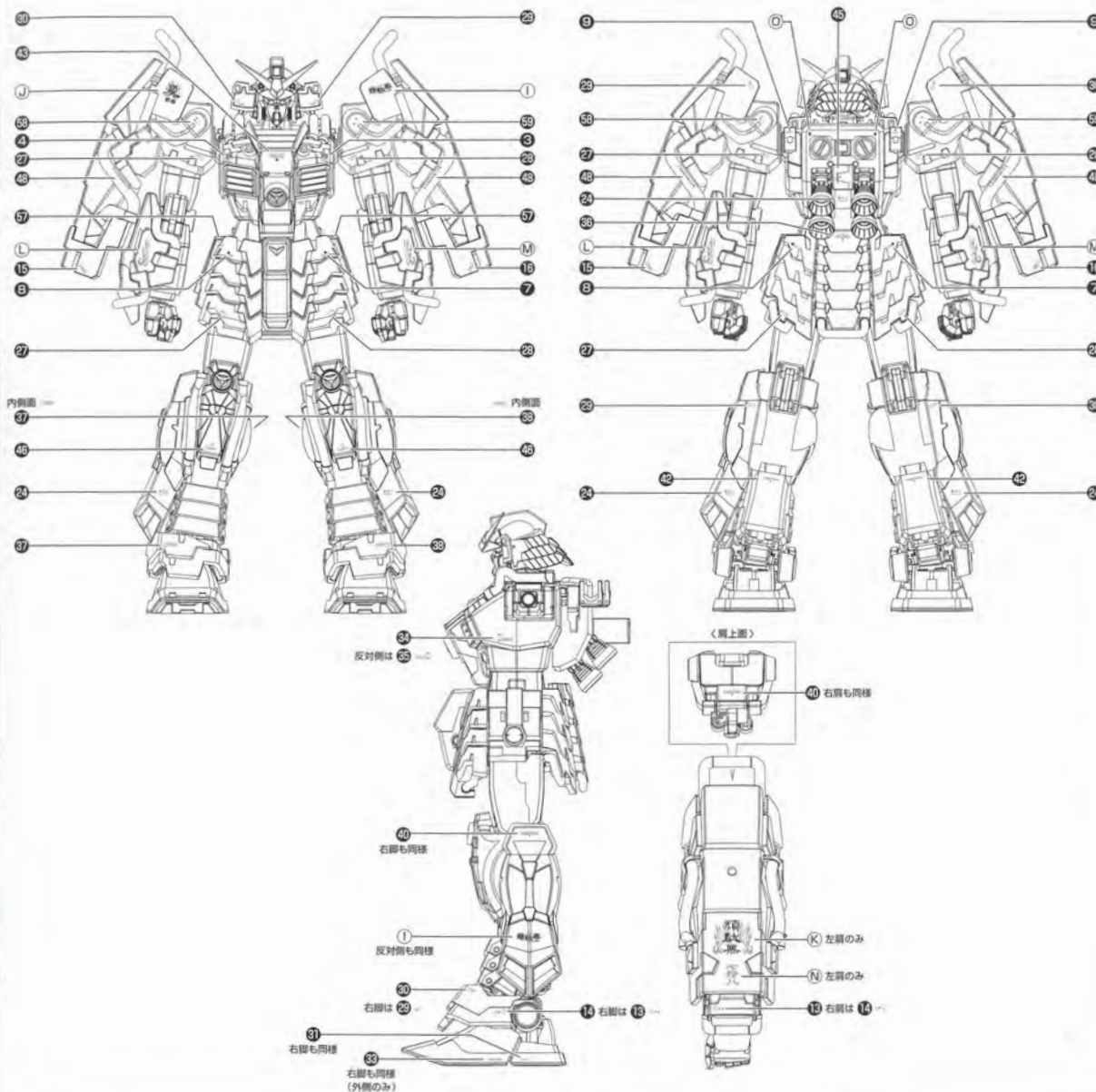
マーキングシールは「数字の白文字」、ガンダムデカールは「英語の黒文字」で表記してあります。  
 【例】 ①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール

カトキハジメデザインver.

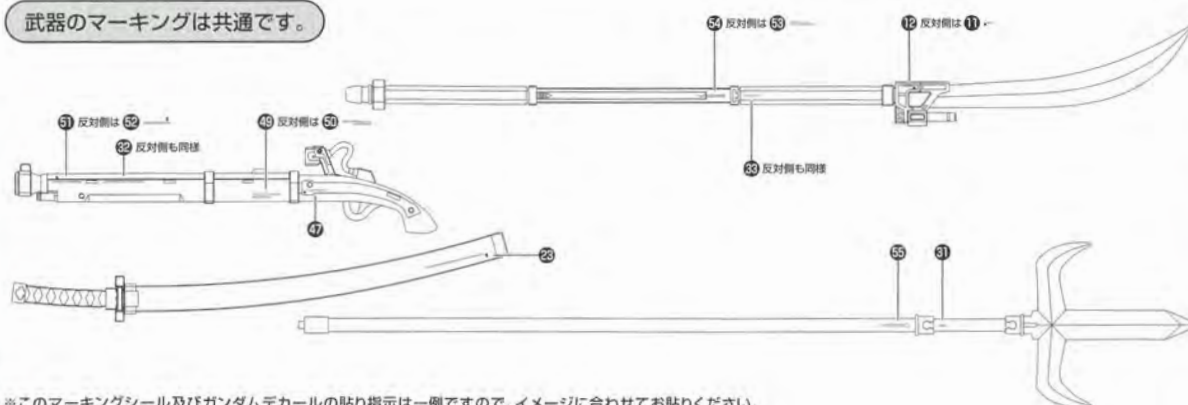
※本商品のデカールは、「カトキハジメデザインver.」と「プラモデルオリジナルver.」の2通りの貼り方があります。どちらか選択してお貼りください。



プラモデルオリジナルver.



武器のマーキングは共通です。



※このマーキングシール及びガンダムデカールの貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。

※組立図中の記号説明

